

令和元年度事業報告

(事業経緯)

- ・有明広域産業技術振興会では、会員企業と有明工業高等専門学校（以下有明高専）との技術相談や共同研究開発などの橋渡しを行ってきた。
- ・会員企業と有明高専をはじめとした産学官の連携・協力の推進を図り、地域産業の振興に寄与するため、産学連携交流事業等を実施している。

1. 会議等の開催

(1) 役員会の開催

当振興会の企画運営や事業の円滑な実施について協議を行うため、役員会を開催した。

(構成：15 会員企業・団体)

- ・開催日：令和元年 6 月 11 日（火）14：00～
- ・場 所：有明高専 大会議室

(2) 総会の開催

総会終了後、有明高専による研究開発成果事例発表会及び会員相互の交流を促進するため交流会を開催した。

- ・開催日：令和元年 6 月 11 日（火）15：00～
- ・場 所：有明高専 視聴覚室

(3) 有明高専と関係機関による連絡調整会議の開催

当振興会事業の円滑な事業推進、地域産業の振興に向けた施策を検討するため、有明高専と関係機関による連絡調整会議（サテライトオフィスミーティング）を定期的に行った。

2. 産学連携交流事業

当振興会事業活動の強化を図るため、有明高専主管による事業計画の策定及び有明高専と会員企業の交流等を促進するため、事業を実施した。

(※詳細は「有明高専 産学連携交流事業 実施報告」P5～8 ページ参照)

3. 情報・広報事業

(1) 有明広域産業技術振興会会員企業の銘板更新等

新規入会企業（12 社）の銘板を新たに作成し、設置を行った。

- ・銘板仕様：縦 12 cm×横 35 cm・アルミ樹脂複合板
- ・設置場所：有明高専総合研究棟 1 F テクノセンター事務室前

(2) 有明広域産業技術振興会会員企業紹介事業（「ありあけ地域企業紹介フェア」）

有明工業高等専門学校の学生及び教職員に当振興会の会員企業を知ってもらうことを目的として会員企業紹介を行った。

また、事業終了後、教職員と会員企業との名刺交換会を行った。

- ・開催日：令和 2 年 1 月 8 日（水）
13：00～
- ・場 所：有明高専（第 1 体育館、修己館）
- ・参加企業：40 社
- ・参加学生：297 人



- (3) ホームページによる情報発信・会員企業相互の交流の場の提供
ホームページによる情報の提供、会員相互の情報交換の場を提供した。
- (4) メーリングリストを活用しての情報提供
メーリングリストを活用し、研究開発助成事業の募集案内、各種セミナーの開催案内等の情報提供を行った。

4. 関連事業

- (1) 各種セミナー開催協力（主催：大牟田市産業活性化推進協議会）
- ① I S O 9 0 0 1 内部監査員養成講座
 - ・開催日：令和元年8月28日(水)～29日(木)
：令和元年9月4日(水)～5日(木)
 - ・場 所：大牟田商工会議所
 - ・受講者：52名
 - ② I S O 1 4 0 0 1 内部監査員養成講座
 - ・開催日：令和元年11月7日(木)～8日(金)
：令和元年11月13日(水)～14日(木)
 - ・場 所：大牟田商工会議所
 - ・受講者：30名
 - ③品質管理(QC)セミナー「生産性向上支援訓練事業」として実施
 - ・開催日：令和2年1月23日(木)～24日(金)
 - ・場 所：大牟田商工会議所
 - ・参加者：31名
 - ④H A C C P 研修会
 - ・開催日：令和2年2月26日(水)
 - ・場 所：大牟田商工会議所
 - ・内 容：「H A C C P の考え方を取り入れた衛生管理」
公益財団法人北九州生活科学センター HACCP 担当室長 神埼 英樹 氏
 - ・参加者：21名

- (2) 関係機関・団体が行う事業の開催協力
- 第17回おおむた産学官連環交流会（主催：おおむた産学官連環交流会実行委員会）
- ・開催日：令和2年2月7日(金)
 - ・場 所：ホテルニューガイアオームタガーデン
 - ・内 容：地域企業と市内の学術研究機関（高専、福大、帝京大）との産学連環促進、
地域産業振興を目的に、研究シーズ発表等を実施
 - ・参加者：95名
- ※今回は振興会設立20周年事業の一環として共催による開催協力を行ったもの

この他、国や県など関係機関が実施する補助金や、技術向上、研究開発制度に関する説明会、セミナー等の開催に関し、周知等の協力を行った。

5. 有明広域産業技術振興会 設立20周年事業

- (1) 九州沖縄地区高専技術振興会サミットへの参加
- ・開催日：令和元年10月19日(土)
 - ・場 所：久留米シティプラザ
 - ・参加者：①江崎学校長、糸永会長、富永センター長他14名
②講演者としての参加：(有)坂本石灰工業所 深浦 仁美氏



(2) 有明広域産業技術振興会ホームページのリニューアル

ホームページの構成を含めた内容を見直し、より閲覧しやすいページにリニューアルを行った



※リニューアル後のトップページ

【HPアドレス】 <https://www.ariake-tec.org/>

(3) 記念講演会の実施

- ・開催日：令和元年10月2日（土）
- ・場所：有明高専 視聴覚室
- ・内容：「あなたが作る未来」～シリコンバレーが作っている未来～
- ・講師：Silicon Valley-Japan Business Consulting CEO マーク加藤氏
- ・参加者：42名

※共催による開催協力を行ったもの

令和元年度 産学連携交流事業 実施報告

本振興会は地元および周辺地域企業と有明高専との間を取り持ち、地域企業の活性化を図るために、講演会、工場見学、シーズ発表会等を企画・実施してきた。また、平成26年度から継続して、大牟田市銀座通商店街の一角にサテライトオフィスを開設し、有明高専の一層の開放と情報収集および発信能力の向上を図っている。

1. 産学連携による共同研究の促進

- (1) 地場産業振興支援研究経費の補助
振興会企業との共同申請課題を採択（継続）。
- (2) 分科会の見直し
地域にマッチしたテーマの検討（継続）。

2. 事業の開催

設立20周年を迎え、振興会会員企業に有明高専が所有する設備を紹介して、両者間を取り持ち、技術相談から共同研究へ発展させる必要がある。これらの基盤となるシーズやニーズなどについて情報を共有し、事業展開への機会づくりを図るために、記念事業として実施した。

(1) 特別講演

「あなたが作る未来」～シリコンバレーが作っている未来～

日 時：10月2日（水）

会 場：有明高専 視聴覚室

講 師：Silicon Valley-Japan Business Consulting CEO マーク加藤氏

本校教職員と学生及び企業より42名参加。

(2) 有明高専シーズデータベースの整備

令和元年度も引き続き、有明高専シーズデータベース（高専データベースと様式を統一したものを）、Web ページに掲載した。

(3) サテライトオフィス事業

令和元年度も引き続き、大牟田市・大牟田商工会議所・大牟田市地域活性化センター・荒尾市・荒尾商工会議所・有明高専による定例情報交換会を6回開催した。

(4) 有明広域産業技術振興会会員企業紹介事業及び名刺交換会

日 時：1月8日（水）13：00～16：00（名刺交換会16：30～）

会 場：有明高専（第1体育館、修己館） 企業40社参加。

3. 有明高専主催・共催行事支援

有明高専が主催または共催する事業は多数あるが、その中で振興会会員企業と密接に関連した下記の事業を行った。

(1) 有明高専オープンキャンパスとの共催イベント

9月21日(土) オープンキャンパス2019を開催。

来場者：738名

パネル展示による振興会会員企業紹介を行った。

※9月22日(日)は台風第17号の接近により中止

(2) 九州沖縄地区高専技術振興会サミット in Kurume

日時：10月19日(土)

会場：久留米シティプラザ

参加者：143名

〔 振興会：糸永会長，理事，会員企業，事務局
有明高専：江崎校長，富永センター長，研究産学連携推進部員 計20名参加 〕

九州沖縄地区9高専の技術振興会が一堂に会して、基調講演・高専と振興会会員企業との研究連携事例紹介・パネルディスカッション・情報交換会が開催された。

研究連携事例紹介では、有限会社坂本石灰工業所 企画開発室 深浦 仁美 氏から「土壌中の重金属汚染を簡易・迅速に判定できる重金属検出キットの開発」について紹介があった。

また、振興会サミット冊子作成にあたっては、有明広域産業技術振興会を始め会員企業(8社)から協賛頂いた。

(3) 第17回南関町企業懇談会

日時：1月24日(金)

会場：ホテルセキア

参加者：江崎校長

(4) 第17回 おおむた産学官連環交流会

日時：2月7日(金) 13:30～(意見交換会17:20～)

会場：ホテルニューガイアオームタガーデン

本校からは、創造工学科 内田雅也講師が「生物応答を利用した環境影響評価 ～排水管理への応用～」に関する発表を行った。

(5) 第5ブロック研究・産学連携・地域連携合同会議及び第6回日本弁理士会九州会との交流会

日時：2月25日(火)、26日(水)

会場：アートホテル大分

研究・産学連携の方向性の確認および九州沖縄地区9高専の研究・産学連携担当者と日本弁理士会九州会所属弁理士との知財及び知財教育について、意見交換会を開催。

(6) 第5回PLC制御コンテスト

日時：3月3日(火)

オムロン株式会社と高専機構の共同教育プロジェクトである「第5回PLC制御コンテスト」の最終発表会に本校から2チーム9名の学生が参加した。

今回のテーマは「オリンピックを制御で盛り上げよう！」で、学生たちは資源ゴミを自動分別するシステムや、アーチェリーの的を自動追尾し矢を射るシステムを作り上げた。

新型コロナウイルスの影響により、オムロン東京事業所での開催が急遽Web会議システムによるコンテストに変更となったが、4年エネルギーコースチームが見事、特別賞(企業賞)を受賞した。

(7) 女子中高生の理系進路選択支援プログラムの実施 (国立研究開発法人科学技術振興機構採択事業)

日時：平成31年4月1日～令和2年3月31日 (全6回)

日 時	プログラム事業名	参加人数	場 所
9月21日	・デジタルものづくりカフェ ・リケジョトーク ～現役理系女子学生と本音トーク～	9名 14名	有明高専
9月29日	・リケジョ発掘ものづくりフェア	13名	荒尾シティモール
10月6日	・リケジョ発掘ものづくりフェア	8名	ゆめタウン大牟田
10月12日	・デジタルものづくりカフェ ・リケジョトーク ～現役理系女子学生と本音トーク～	4名 4名	有明高専
11月17日	・女性技術者・研究者講演会、座談会 【講師】三井化学大牟田工場 松本 麻弥加 氏 デンカ大牟田工場 堂崎 由夏 氏 ・女子力 up!! 科学実験 ・リケジョトーク ～現役理系女子学生と本音トーク～	9名 9名 9名	有明高専
2月20日	・デジタルものづくりカフェ	35名	明光学園

女子中学生に実習体験・講演等を通して、ものづくりや科学への興味・関心を持ってもらうとともに、年代の近い有明高専女子学生や働く理系女性との出会いを通して、理系進路選択までの道や理系進路選択後のキャリアを示し、「リケジョ」への理解を深める活動を行った。

また、プログラム事業のうち「女性技術者講演会・座談会」については、三井化学大牟田工場及びデンカ大牟田工場の高専OGを招き「女性エンジニアのステキなお仕事」と題し、女性技術者の視点から講演頂いた。

4. 地場産業振興支援研究事業

地場産業振興を最終目標として、地場企業と高専教職員との連携による研究・開発の促進を目的とする地場産業振興支援研究を継続支援する事業を行った。また、会員企業の技術相談に基づく新規導入装置による測定依頼を支援した。

以下の3件を採択助成した。研究成果は、協議会ホームページ内の「共同研究」に掲載。

【HPアドレス】 <https://www.ariake-tec.org/>

◎研究課題：ファインバブル技術の応用展開に向けた学術的検討

研究担当者：(創造工学科) 大河平 紀司 教授

共同研究者：(創造工学科) 内田 雅也 講師

(中島物産株式会社) 中島 康宏 氏

◎研究課題：高純度アルミナの湿式成形による高密度化および低温焼結技術の開発

研究担当者：(創造工学科) 榎本 尚也 教授

共同研究者：(有明マテリアル株式会社) 満留 辰郎 氏

◎研究課題：人口減少時代の地方都市における移動図書館の現状についての調査研究：福岡県内の市町村へのアンケート調査と九州地方の先進事例調査を通じて

研究担当者：(創造工学科) 加藤浩司 准教授

共同研究者：なし

※図書館に関する研究であり、有明地域への貢献度が高いと判断し採択

5. 研究開発助成事業の斡旋導入

年度	共同 (件)	受託 (件)	合計 (件)	共同 (千円)	受託 (千円)	合計 (千円)
22	6	4	10	3,887	1,850	5,737
23	6	5	11	3,825	3,690	7,515
24	7	6	13	1,260	6,499	7,756
25	11	4	15	3,042	7,283	10,325
26	7	3	10	796	4,684	5,480
27	11	5	16	5,082	4,970	10,052
28	16	6	22	6,365	7,882	14,247
29	19	4	23	11,110	5,792	16,902
30	21	9	30	19,231	9,804	29,035
元	10	7	17	8,123	8,337	16,460

6. 令和元年度予算執行状況

【支出の部】

(単位：円)

区 分	決算額	予算額	比較増減
1. 地場産業振興支援研究費	600,000	600,000	0
2. 分科会支援金	0	0	0
3. 学生支援金 (オープンキャンパス等)	98,520	200,000	△101,480
4. 会議費	18,000	50,000	△32,000
5. サテライトオフィス事業	60,000	100,000	△40,000
6. 事業費 (人材育成事業等) (企業紹介事業)	172,250	200,000	△27,750
	182,134	350,000	△167,866
7. 予備費	0	50,000	△50,000
合 計	1,130,904	1,550,000	△419,096